

**聖霊降臨節第4週 主日礼拝**

2015年6月14日

第一礼拝(8:30～) 第二礼拝(10:30～) 夕拝(19:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『コリント人への手紙 第一』13章1-7節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌21「輝く日を仰ぐとき」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈祷		司会者	
感謝の賛美	新聖歌202「一度死にしわれをも」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』5章17-26節(新約117頁)	司会者	
聖書黙想		—	同
説教	「友よ、あなたの罪は赦されました」	近伸之牧師	
黙想		—	同
※応答の賛美	新聖歌433「 <sup>あま</sup> 天つ真清水 <sup>ましみず</sup> 」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈祷		笹川清子姉	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌62「 <sup>あま</sup> 天つみ民も」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

司会	片山健司兄	録音・操作	片山勝三兄	C S 担当	小林洋子姉
集會	横堀信子姉	音響・映像		説教の録画	山崎敬典兄
				掃除	長谷川睦子姉

**説教メモ**

- 「屋根の瓦をはがして、中風の人を床に寝かせたまま、吊り下ろす」という非常識な行動を、イエスは「信仰」(20)として見られた。人の目を気にするのではなく、ただ神だけを見つめること。たとえ非常識と思われても、決して神に近づくことをあきらめないこと。それが信仰である。
- 私たちの行為が「信仰」として受け入れられる絶対条件は、そこに「愛」があること。彼らはただイエスに近づこうとしたのではなかった。そこには中風の友を何としてもイエスに出会わせたいという愛があった。そしてイエスはすべてを知っておられた。だからこそ、5人目の「友」となってくださった(20)。

**マザー・テレサの言葉**

大切なのは、どれほど多くを施したかではなく、それをするのに、どれだけ多くの愛をこめたかです。  
大切なのは、どれだけ多くを与えたかではなく、それを与えることに、どれだけ愛をこめたかです。

**個人、団体からの来信**

2015年6月14日

PBAよりDVD/東京基督教大学より、領収証と献金感謝状/「松永堡智牧師を支える会」会報 第四号/『Move On!』、「The English Camp」(7/17金～20月祝)案内/新潟聖書教会より、「教会創立40周年記念礼拝・記念会招待状(7/19主日)」および記念献金をお願い

**先週の集會出席者数**

6/7(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性- <b>幼児女子2 小学女子2 中学女子- 高校女子- 4名 成人女性2</b>		
6/7(日)	第一礼拝	男3 女4 計7	6/8(月) 実用書道教室	男1 女7 子1
	聖餐礼拝	男11 女19 計30 子6	6/8(月) 月曜家庭集會	男3 女4 計7
	夕拝	男1 女- 計1	6/10(水) 阿賀野祈禱會	男3 女5 計8
			6/12(金) しゃべり場タビタ	(都合により休會)
			6/12(金) 金曜祈禱會	男- 女3 計3

**諸集會のご案内**

※来月は第1月曜日に実用書道教室開催			
	月曜家庭集會		(次回は6/22)
6/17(水) 19:30～	新潟山形僚禱會	教会堂	司会:横堀 信子姉
6/19(金) 13:30～	しゃべり場タビタ	渡辺智子姉宅	問合先:小山 千春姉
6/19(金) 夜	金曜祈禱會	教会堂	

**6/21(日) 聖霊降臨節第5週**

第一礼拝 8:00～	司会:近伸之牧師	音響:片山 勝三兄	
教会学校 9:00～	担当:佐藤 繁実兄		
第二礼拝 10:30～	司会:高橋 尚靖兄 集會:笹川 清子姉	録音・操作:片山 勝三兄 音響・映像: 説教の録画:山崎 敬典兄	感謝祈祷:小林 洋子姉 掃除:森田 澄子姉
礼拝について (通常礼拝)	開會:22 感謝:206 応答:434 頌栄:63	説教:『ルカの福音書』5章27-32節 派遣:54	
主日の予定	カナン訪問	13:00練習 13:30出発	14:00開始
夕拝 19:30～	司会・説教 近伸之牧師		

**報告**

- 本日の予定**  
主日礼拝の恵みを感謝します。午後は、村上、新発田、豊栄の3教会合同で紫雲の里にて交わり会をもちます。配車など詳細は担当者より案内があります。往復の道など守られて楽しく過ごせますように。
- 近牧師の予定について**  
6/16(火) 午前10時 新津福音キリスト教会においてTCU支援会世話人会  
// 午後7時より 亀田キリスト教会にて宣教区の役務者会  
6/18(木) 午前中 新大病院にて定期検診  
// 午後7時より 新潟教会において敬和学園記念事業準備委員会
- 先週の来会者**  
**6/7(日)聖餐礼拝:**野中由美子姉と、野中高大兄が来会されました。  
**6/8(月)実用書道教室:**高橋文子さんが、5月に引き続き6月にも参加されました。

狭い日本の国土に人間がひしめいていると、自然とセカセカとした人間になってしまうようです。のんびりしていると人に負けてしまう、追いつかれてしまう、でも前はつまっているからおいそれとは進めない。これではどうしてもイライラしてしまいます。

物事が順調に進んでいる時はそうでもないでしょうが、世の中は思い通りにはいかないものです。思わぬ病気や家庭の事情などで自分の人生が交通渋滞を起こしてしまう時、心は穏やかでなくなります。自分が惨めに思われ、友がねたましく思われて、世の中がしゃくにさわってイライラがつづいてくるという事もあるでしょう。

以前、アメリカに行った時、ジョギングしている人たちに会いました。その人たちはお互いにすれ違う時、「かっこいいよ」「やってるね」と声を掛け合い励ましあっているのです。

その中でもっともよく使われていたのは「リラックス!」という言葉でした。日本人だったらきっと「頑張る!」と言うだろうと思います。ところが「頑張る!」と言われたほうはいよいよ緊張してしまい、肝心なところで実力を発揮できなくなってしまうという事があるかもしれません。

「人事を尽くして天命を待つ」という言い方がありますが、持てる限りの力を尽くしても、これで

大丈夫とはなかなか言えません。逆に、まだダメだ、足りないと不安ばかり大きくなってしまふこともあります。このようなイライラや不安に私たちはどう対処すればいいのでしょうか。

そんな時、私は聖書の一節を思い浮かべます。「わたしはあなたと共にいる。恐れてはならない」という言葉です。私は自分自身を共にいてくださる方にお任せするという事を知っています。それを教えられた事をこの上なく喜んでいきます。

聖書の中には「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべての事を働かせて益ととしてくださることを、私たちは知っています」(『ローマ人への手紙』8章28節)とも書かれています。

どのような状態の中にいようと、何が起きようと、それは自分にとってやがて益となるのだと神さまに信頼していくと、不思議に平安になれます。「すべてのことを働かせて益ととしてくださる」神さまが、私たちを愛し、私たちと共にいてくださる中で、私たちがほんとうの意味でリラックスできる心を持てるのです。

あなたは、お任せすることのできる、共にいてくださる神さまを知っておられるでしょうか。



よりそひて静なるかな かきつばた (高浜虚子)

**2015年度教会目標 「心から進んで」**

年間目標 それぞれに違った賜物を与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

ライフライン 毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。  
 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



6/20(土)「杉原千畝〜ユダヤ難民6千人を救った命のビザ〜」守部喜雅さん  
 ■メッセージ: 岩井基雄

第二次世界大戦中、リトアニアで外務省からの訓令に反して6千人のユダヤ難民にビザを発給した杉原千畝。外交官として大きな決断を迫られた背景には何があったのか。ジャーナリストの守部喜雅さんをスタジオに迎え、お話を伺う。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区  
 豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)  
 TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155  
 ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>  
 電子メール: [info@toyosakakyokai.com](mailto:info@toyosakakyokai.com)  
 ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

